

証券コード：6147

Business Report



2023年4月1日 → 2024年3月31日

第64期 株主通信

株式会社ヤマザキ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

我々は、今後も株主の皆様のご期待に応え、末永くご愛顧頂けます様、継続的かつ安定的な株主配当の維持、経営基盤の強化と企業価値向上に取り組んでまいります。

現状 当社グループの主要クライアントである輸送機器業界は、EV化に代表される「100年に一度」といわれる技術革新の中にあります。

特に、生産設備の投資では“設備新設からレガシー設備の利用へ”と大きな計画の変化が見受けられます。

一方“生産現場”においては「2024年問題」や「働き方改革」といった社会変化による人手不足が本格化することが予想されております。

ヤマザキは、クライアントが抱える様々な課題を解決すべく「生産活動に喜びをもたらす、プレミアムな技術のご提供」を通じ、「お客様に寄り添い世界中で必要とされる企業」を目指してまいります。

更に、他企業との交流・連携やリビルトビジネス（転用改造等による製品やサービスの提供）や現有技術の他業界への展開などにより、経営の安定と業容拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともヤマザキに一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

山崎 好和

事業報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み緩やかな回復基調が続いたものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰等による物価の上昇や為替変動による影響等、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、工作機械の販売は増加したものの、国内及びベトナムの子会社において、販売先の生産調整の影響により輸送用機器の販売が減少したことから、当連結会計年度における売上高は24億9千6百万円（前連結会計年度比6.0%減）となりました。

利益面につきましては、工作機械事業においては固定費の圧縮等の効果により前連結会計年度に比べ損失幅を縮小したものの、輸送用機器事業における販売の減少等により、営業損失は9千7百万円（前連結会計年度は営業損失2億2千8百万円）、経常損失は8千6百万円（前連結会計年度は経常損失2億1千3百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は3千3百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1億1千1百万円）となりました。

業績ハイライト

最新のIR情報・IRニュースは当社ホームページをご覧ください。

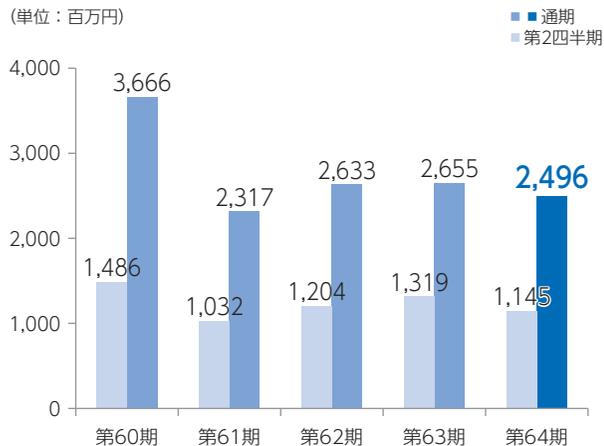
株式会社ヤマザキ IR



売上高

2,496百万円

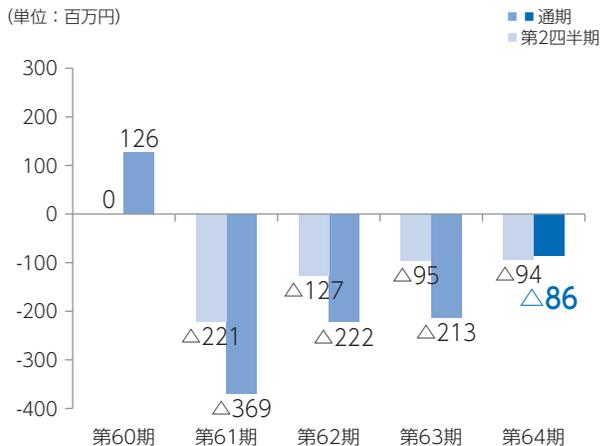
(単位：百万円)



経常利益又は経常損失(△)

△86百万円

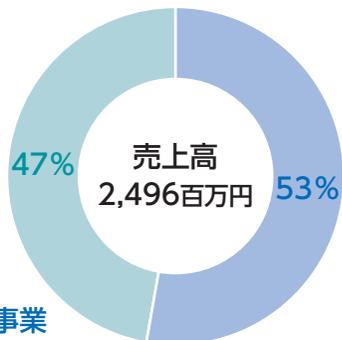
(単位：百万円)



売上高構成比

輸送用機器事業

1,323百万円



工作機械事業

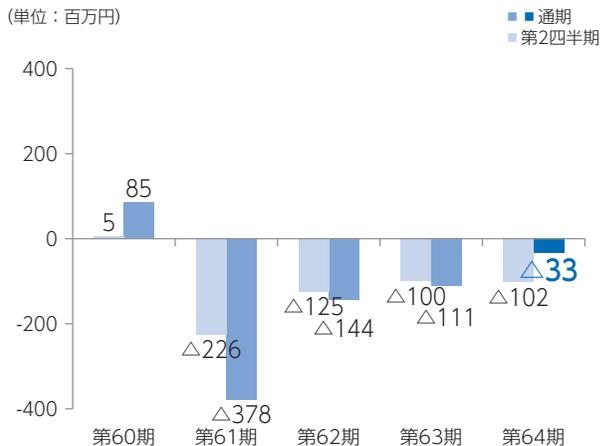
1,172百万円

(注) 上記売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

△33百万円

(単位：百万円)



精機事業と生産事業

専用工作機械メーカーとして国内トップシェアを誇る「ヤマザキ」。主力事業は、精機事業部門（工作機械製造）と生産事業部門（輸送用機器部品製造）の2部門で構成されています。

精機事業部門では、設計・開発から製造・設置・メンテナンスまでのワンストップ体制をもって、主たるお客様である輸送用機器メーカー各社の品質と生産性向上に貢献する精密工作機械を提供しています。

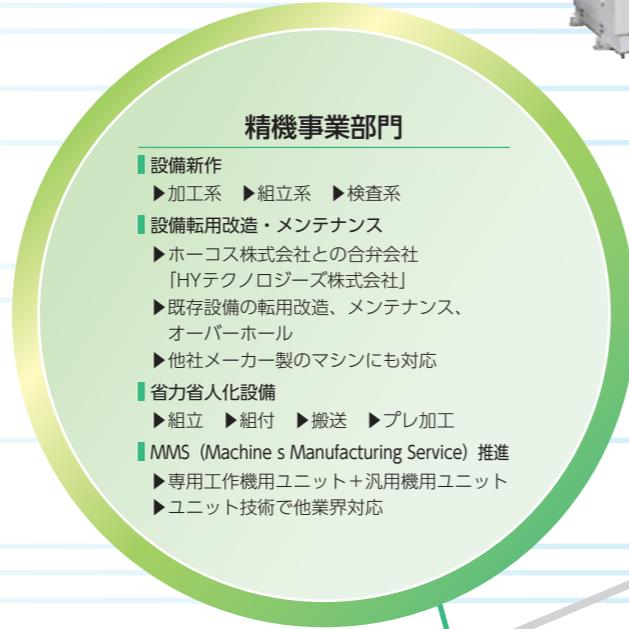
創業以来培ったノウハウをもとに標準化されたユニットを600種以上用意し、お客様のニーズに応じたマシンのビルドアップに対応しています。スピンドルヘッド、フィードユニット、インデックステーブル等のユニットをはじめ、マシンングセンター、専用工作機械、いずれの製品も高いご評価をいただいております。

また、故障など万一のトラブルにおいても、ユニットの交換により製造ラインの停止時間を最短にとどめることができます。お客様の生産現場に常に求められる品質と生産性向上という課題に、迅速かつきめ細やかに対応し、生産現場の最適化に貢献をしています。

生産事業部門では、主に輸送用機器における変速機及び制御装置部品、エンジン部品などの生産・供給を行っています。精機事業と生産事業の2つの機能を併せ持つことにより、他社にはない相互のフィードバックによるシナジー効果が生まれています。



■ Super De-burr Center (スーパー デバセンター)



新たな事業展開への取り組み

- ・新たに半導体製造装置を受注いたしました。クリーンルームを設置し2024年5月以降継続的に製造販売する予定です。
- ・新たな販売先への四輪車部品の製造販売を開始しており、2024年5月以降は全4ラインがフル稼働する予定です。
- ・さらなる事業展開への取り組みとして、高精度研磨機を2024年5月に導入予定です。
- ・環境ソリューションとして、水処理プラントの製造販売を開始しており、地球環境に配慮しながら人々の豊かな暮らしに貢献してまいります。
- ・2022年より作業環境を配慮し開発したロボットバリ取りシステム「SDC (スーパーデバセンター)」の販路拡大を目指しております。

【外国人材の活用】

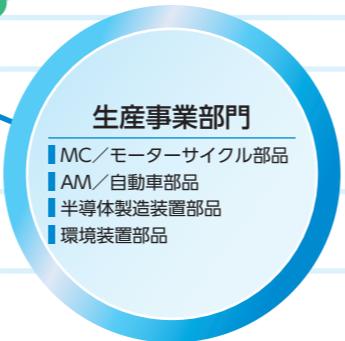
「ヤマザキ」では外国人材を積極的に活用しています。2023年3月期は4名、2024年3月期は9名となり今後も増員する予定です。ダイバーシティ経営の推進により、社内の活性化につながっています。

【CSR宣言】

「ヤマザキ」はCSRを推進するにあたり、「コンプライアンス遵守」「地域とのコミュニケーション」「ワークライフバランスの推進」「環境保全への貢献」を重点課題として掲げています。世界中のお客様から必要とされ、ステークホルダーのみならず、信頼されるビジネスパートナーであり続けたいと願っています。

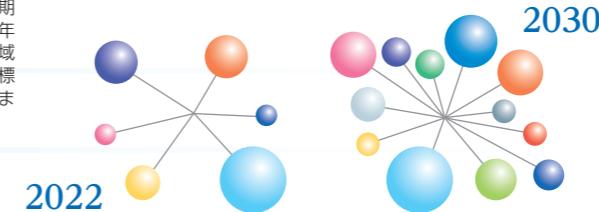


■ 「ヤマザキ」の外国人材

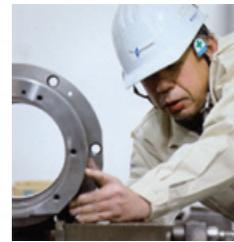


ヤマザキ — 2030に向かって

2021年度より10年間の長期経営計画を実行中。2030年度には、事業領域を12領域に拡大、売上100億円を目標に、一丸となって邁進してまいります。



- 連結子会社 海外-3
- 連結子会社 海外-2
- 連結子会社 海外-1
- 連結子会社 国内-2
- 連結子会社 国内-1
- 精機製品 アフターマーケットビジネス
- 精機製品 省人・省力化設備
- 自動化設備 (ロボット・組立・組付・搬送・検査・プレ加工他)
- 精機製品 専用工作機械
- 精機製品 標準・特注ユニット
- 輸送機器部品製造 その他
- 輸送機器部品製造 AM
- 輸送機器部品製造 MC



会社情報・株式の状況・株主メモ

会社情報

2024年3月31日現在

会社名	株式会社ヤマザキ
設立年月日	1960年（昭和35年）9月1日
本社所在地	〒431-3121 静岡県浜松市中央区有玉北町489-23
資本金	9億7,219万円
従業員数	336名（連結）

主要な事業所

テクニカルセンター (都田工場) 関東営業所	〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田4-4-3
	〒327-0837 栃木県佐野市植野町2003-2 吉沢テナントビル1F1号
九州営業所	〒800-0304 福岡県京都郡刈田町烏越町1-2 201
富士工場 子会社	〒416-0946 静岡県富士市五貫島1047-1 YAMAZAKI TECHNICAL VIETNAM CO.,LTD. ベトナム社会主義共和国ハノイ市

事業内容

- 輸送用機器事業
MC/モーターサイクル部品、AM/オートモービル部品、半導体製造装置部品等
- 工作機械事業
インデックスマシン等各種専用工作機械及びボーリングヘッド等省力化設備ユニット、半導体製造装置等

株式に関する事項

2024年3月31日現在

発行可能株式総数	15,703,000株
発行済株式の総数	4,579,000株（うち自己株式 141,750株）
株主数	2,839名
大株主	

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
山崎好和	1,186	26.74
大同興産株式会社	685	15.44
真栄栄社会	424	9.56
株式会社静岡銀行	198	4.46
ヤマザキ従業員持株会	110	2.50
宮崎羅貴	60	1.37
善生隆	42	0.95
静岡キャピタル株式会社	41	0.92
株式会社電興	40	0.90
マルニシ株式会社	40	0.90

(注) 持株比率は、自己株式（141,750株）を控除して計算しております。

役員

2024年6月27日現在

代表取締役社長執行役員	山崎好和
取締役常務執行役員	川島浩孝
取締役常務執行役員	松本靖之
取締役上席執行役員	山本惣一
取締役上席執行役員	今場浩和
社外取締役	浅田和則
社外取締役	加藤敏純
取締役（監査等委員）	高橋則子
社外取締役（監査等委員）	伊藤博
社外取締役（監査等委員）	原道也

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月 （定時株主総会で権利行使できるのは、毎年3月31日現在の最終株主名簿に記載された株主様とします。）
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ ホームページのご案内 ■

当社ホームページでは、決算短信をはじめとする最新IR情報をご覧いただけます。また、詳しい製品情報も掲載しております。



<https://www.yamazaki-iron.co.jp/>

株式会社ヤマザキ IR 検索



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。